

「農業者等との意見交換会」

(京都府亀岡市第2ブロック第7回地区連絡会議)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成31年2月9日(土)午後8時~10時30分
- 場 所: 曾我部町自治会館
- 出席者: 農業委員3人、最適化推進委員6人
農業者等15人、現地推進役 森田
- 報告者: 森田 一三 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 平坦地の曾我部、法貴、犬飼と、山間地の東・西別院の混在する地域。
- 犬甘野、曾我部地域において新規就農・研修性が入植。

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 国営土地改良事業後地域農業者が何をすべきか。○機械の大型化や更新が課題
- 今は親の手伝いとして農業をしているが、親ができなくなる時が不安。何も準備ができていない。
- 移住者も含めて外から人を呼ぶことも。○外から来た者にとって、知識・機械・土地・労力を共有できれば。
- 法人化とか言うが、行政がもっと入り込んで地域を手助けしてほしい。
- 新規就農者のネットワークづくりを。
- 土地改良事業は目的ではなく、農地・地域を守る手段。
- 個々の農家がコンバインや田植え機を持つことが必要か→集落営農組織が必要。
- 今日を契機に地域でこうした会合を継続して開催しては。

※農業者と農家組合長、農委、最適化委員の意見交換会であった。初めての取り組みであったが、活発に意見交換ができた。

4 活動結果

- 情報・意見交換 **2.5** 時間
- 担い手への集積 **a** 増加
- 遊休農地面積 **a** 解消
- 新規就農者 **人** 支援